

CERTIFICATE OF HAND DELIVERY

I hereby certify that this correspondence is being hand filed with the United States Patent and Trademark Office in Washington, D.C. on January 16, 2004.


Ayisha M. Roberts

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Yukitomo YUHARA.

Serial No.: Not Yet Assigned

Filing Date: January 16, 2004

For: COSMETIC CONTAINER

Examiner: Not Yet Assigned

Group Art Unit: Not Yet Assigned

SUBMISSION OF CERTIFIED FOREIGN PRIORITY DOCUMENT

U.S. Patent and Trademark Office
2011 South Clark Place
Customer Window, Mail Stop Applications
Crystal Plaza Two, Lobby, Room 1B03
Arlington, VA 22202

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119, Applicant hereby claims the benefit of the filing of Japanese patent application No. 2003-013742, filed January 22, 2003.

The certified priority document is attached to perfect Applicant's claim for priority.

It is respectfully requested that the receipt of the certified copy attached hereto be acknowledged in this application.

In the event that the transmittal letter is separated from this document and the Patent and Trademark Office determines that an extension and/or other relief is required, applicant petitions for any required relief including extensions of time and authorizes the Commissioner to charge the cost of such petitions and/or other fees due in connection with the filing of this document to Deposit Account No. 03-1952 referencing 371312002300.

Dated: January 16, 2004

Respectfully submitted,

By: Alex Chitane
Barry E. Bretschneider 31,942
Registration No. 28,055

Morrison & Foerster LLP
1650 Tysons Boulevard, Suite 300
McLean, Virginia 22102
Telephone: (703) 760-7743
Facsimile: (703) 760-7777

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 月 2 2 日
Date of Application:

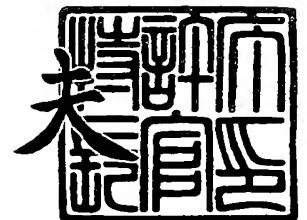
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 1 3 7 4 2
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 0 1 3 7 4 2]

出 願 人 吉田工業株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 9 月 1 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 YOS0323

【提出日】 平成15年 1月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A45D

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社
社内

 【氏名】 柚原 幸知

【特許出願人】

 【識別番号】 000160223

 【氏名又は名称】 吉田工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100094042

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 鈴木 知

【選任した代理人】

 【識別番号】 100071283

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 一色 健輔

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 170842

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 化粧料容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方の外面に、これらを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体の外側面から窪ませて形成された第 1 の溝と、該第 1 の溝内部に形成された係合部と、上記交換用カバーに形成され、上記第 1 の溝内に挿入されて上記係合部に係脱自在に係合される可撓変形自在な被係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体の内側面から窪ませて上記第 1 の溝に連通させて形成され、該第 1 の溝内部で上記係合部に係合している上記被係合部を可撓変形させて該係合部から離脱させるべく、該被係合部に操作力を加えるための第 2 の溝とを備えたことを特徴とする化粧料容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に化粧料容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧料容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や

蓋体に装飾を施すようにしていた。

【0 0 0 3】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願 2 0 0 1 - 4 9 0 0 0、特願 2 0 0 2 - 2 8 0 3 4 0、特願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 2、特願 2 0 0 2 - 3 0 4 6 8 3、特願 2 0 0 2 - 3 2 1 8 7 3、特願 2 0 0 2 - 3 2 1 8 7 4 を出願している。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来の化粧料容器にあっては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

【0 0 0 5】

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

【0 0 0 6】

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであって、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供することを目的とする。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方の外面に、これらを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体もしくは上

記容器本体の外側から窪ませて形成された第 1 の溝と、該第 1 の溝内部に形成された係合部と、上記交換用カバーに形成され、上記第 1 の溝内に挿入されて上記係合部に係脱自在に係合される可撓変形自在な被係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体の内側から窪ませて上記第 1 の溝に連通させて形成され、該第 1 の溝内部で上記係合部に係合している上記被係合部を可撓変形させて該係合部から離脱させるべく、該被係合部に操作力を加えるための第 2 の溝とを備えたことを特徴とする。

【0008】

これにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。また被係合部に操作力を加えるための第 2 の溝を、蓋体や容器本体の内側から窪ませて形成していて、化粧品容器の外観を良好なものとし得る。さらに、係合部と被係合部とを第 1 の溝内部で係合させるようにして、交換用カバーが蓋体や容器本体から不用意に外れてしまうことを適切に防止することが可能となる。

【0009】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかる化粧品容器の好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧品容器 1 は図 1 ～図 5 に示すように、収納凹部 2 が形成された皿状の合成樹脂製容器本体 3 と、容器本体 3 の前後方向後端にヒンジ 4 を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体 3 を開閉するとともに、容器本体 3 の前端にフック 5 を介して係脱自在に係合されて当該容器本体 3 の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体 6 と、蓋体 6 に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体 6 の外面 6 a を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー 7 とから主に構成される。

【0010】

交換用カバー 7 の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー 7 は容器本体 3 を覆って設けられてもよく、また蓋体 6 および容器本体 3 の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体 3、蓋体

6、並びに交換用カバー 7 は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体 6 の内面 6 b には、鏡 8 が取り付けられている。

【0011】

フック 5 は、容器本体 3 の前端に形成された凹所 9 内に突設されたフック用突起 10 と、蓋体 6 の前端から垂下されてフック用突起 10 に係脱自在に係合されるフック片 11 とから構成される。またヒンジ 4 は、フック 5 とは反対側において容器本体 3 の後端から一対突設されたヒンジ片 12 間に、蓋体 6 の後端から垂下させたヒンジブロック 13 が挟み込まれ、これらヒンジブロック 13 からヒンジ片 12 にわたって形成したピン穴 14 にヒンジピン（図示せず）が挿入されることで構成され、ヒンジブロック 13 はヒンジピンを介してヒンジ片 12 に対し回動自在に連結される。

【0012】

交換用カバー 7 は、化粧品容器 1、本実施形態にあつては蓋体 6 の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー 7 に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー 7 に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

【0013】

これら交換用カバー 7 は、その外形輪郭が容器本体 3 の外形輪郭と一致するようにほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー 7 が取り付けられる蓋体 6 は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー 7 はこの蓋体 6 の上にこれを覆って重ね合わされる。

【0014】

交換用カバー 7 には、その外周縁から蓋体 6 側に垂下させて環状の垂下部 15 が形成される。フック 5 側に位置する垂下部 15 には、容器本体 3 の左右幅方向に適宜間隔を隔てて、交換用カバー 7 の下面 7 a 側へ折り返すことで係合突部 16 が形成され、この係合突部 16 によって角付けされた入隅部 17 が形成される。

。また、交換用カバー 7 の下面 7 a には、ヒンジブロック 13 直上位置から下方へ突出させて、水平方向に可撓変形自在な被係合部としての弾性片 18 が設けられる。この弾性片 18 の下端には、これより蓋体 6 の前後方向前方へ突出させて係止突起 19 が形成され、この係止突起 19 によって、弾性片 18 には角付けされた入隅部 20 が形成される。

【0015】

他方、蓋体 6 には、その外周壁 6 c から外方へ突出させて、交換用カバー 7 の垂下部 15 が載置される環状のフランジ部 21 が形成される。またフック 5 側に位置する外周壁 6 a にはこれを窪ませることで、交換用カバー 7 の係合突部 16 を挿抜自在に挿入するための係合凹部 22 が形成され、この係合凹部 22 によって、角付けされた出隅部 23 が形成される。そして、交換用カバー 7 を蓋体 6 のフック 5 側から装着して係合突部 16 を係合凹部 22 に差し込むことにより、入隅部 17 が出隅部 23 に対して上下方向へは離脱不能に、かつ水平方向へは係脱自在に係合されるようになっている。

【0016】

また、蓋体 6 にはその外面 6 a 側からヒンジブロック 13 へわたって上下方向に窪ませて、弾性片 18 が挿抜自在に挿入される第 1 の溝 24 が形成される。また、ヒンジブロック 13 には、鏡 8 に面する、すなわち蓋体 6 の外面 6 a とは反対側の蓋体 6 の内面 6 b 側からほぼ水平方向へ窪ませて、第 1 の溝 24 と連通される第 2 の溝 25 が形成され、これら第 1 の溝 24 および第 2 の溝 25 によりヒンジブロック 13 には、L 字状の通孔が形成される。

【0017】

第 1 の溝 24 内部には、その内面から蓋体 6 の前後方向後方へ弾性片 18 の係止突起 19 に向かって突出させて係合部としての凸状リブ 26 が形成され、この凸状リブ 26 により、角付けされた入隅部 20 に向かい合う出隅部 27 が形成される。そしてこの出隅部 27 は、第 1 の溝 24 内に挿入された弾性片 18 の係止突起 19 が凸状リブ 26 下に係止されることにより、入隅部 20 と上下方向に離脱不能にかつ水平方向に係脱自在に係合される。

【0018】

第2の溝25は、第1の溝24内部で凸状リブ26に係合している弾性片18の係止突起19を離脱させるべく、弾性片18を可撓変形させる水平方向の操作力を加えるために備えられ、係止突起19が達する位置において、当該第1の溝24と連通される。そしてこの第2の溝25には、弾性片18に操作力を加えるためのコインなどの押圧操作具Pが挿入され、挿入した押圧操作具Pによって弾性片18を水平方向に変形させることができるようになっている。

【0019】

さらに、係止突起19および凸状リブ26にあつては図2に示すように、係止突起19が凸状リブ26を乗り越える過程で互いに向かい合う面が、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面28, 29で形成される。そしてまた、係止突起19のテーパ面29と第2の溝25の内面との間には図3に示すように、交換用カバー7を蓋体6から離隔させるべく、弾性片18を第1の溝24に沿って押圧するために、第2の溝25の奥に向かって、すなわち押圧操作具Pの挿入方向に沿って順次狭められ、押圧操作具Pが差し入れられることによりその操作力の一部を押圧力に変換するくさび状の隙間Gが形成される。

【0020】

本実施形態にかかる化粧料容器1の作用について説明すると、化粧料容器1を購入した購買者が蓋体6に装着されている交換用カバー7を、他のデザインの新たな交換用カバー7に交換する際には、蓋体6を回動させて容器本体3を開き、図3に示すように蓋体6の内面6bに現れた第2の溝25内へ、係止突起19に向かって押圧操作具Pを挿入する。

【0021】

押圧操作具Pで係止突起19を押圧操作すると図4に示すように、弾性片18が第1の溝24内で水平方向に可撓変形され、この可撓変形に伴って係止突起19が凸状リブ26から離脱されて、蓋体6に対する交換用カバー7の係止状態が解除されるとともに、これと同時に、くさび状隙間Gに差し込まれた押圧操作具Pが弾性片18を第1の溝24に沿って下方へ押し下げる作用も発揮し、これら係止突起19および凸状リブ26の係合解除と、弾性片18の押し下げとによって交換用カバー7は、図5に示すように蓋体6から跳ね出されるようにして分離

される。

【0022】

その後は、交換用カバー 7 を蓋体 6 の水平方向前方へ押し出せば、係合突部 16 を係合凹部 22 から離脱させることができ、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0023】

次いで、新たな交換用カバー 7 を蓋体 6 に装着する際には、蓋体 6 前端側において係合突部 16 を係合凹部 22 に差し入れて係合させる一方で、蓋体 6 後端側においては、弾性片 18 を第 1 の溝 24 内に挿入してそのまま交換用カバー 7 を蓋体 6 に向かって押し付ければ、弾性片 18 の可撓変形を伴って係止突起 19 が凸状リブ 26 を乗り越えると同時に入隅部 20 が出隅部 27 と係合し、これにより新しい交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせて取り付けることができる。

【0024】

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器 1 にあっては、蓋体 6 の外面 6a にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバー 7 と、蓋体 6 の外面 6a 側から窪ませて形成された第 1 の溝 24 と、第 1 の溝 24 内部に形成された凸状リブ 26 と、交換用カバー 7 に形成され、第 1 の溝 24 内に挿入されて凸状リブ 26 に係脱自在に係合される可撓変形自在な弾性片 18 と、蓋体 6 の内面 6b 側から窪ませて、第 1 の溝 24 に連通させて形成され、第 1 の溝 24 内部で凸状リブ 26 に係合している弾性片 18 を可撓変形させて凸状リブ 26 から離脱させるべく、当該弾性片 18 に操作力を加えるための第 2 の溝 25 とを備えたので、化粧料容器 1 の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器 1 として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

【0025】

また、交換用カバー 7 としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー 7 から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器 1 を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することが

できる。また、弾性片 18 に操作力を加えるための第 2 の溝 25 を、蓋体 6 の内面 6b 側から窪ませて形成したので、化粧料容器 1 の外観を凹凸のない良好なものとすることができる。

【0026】

また、弾性片 18 の係止突起 19 と第 2 の溝 25 との間に、交換用カバー 7 を蓋体 6 から離隔させる方向へ押圧するために、操作力の一部を押圧力に変換するくさび状隙間 G を形成したので、交換用カバー 7 を取り外す際には、このくさび状隙間 G を利用した弾性片 18 の押圧によって、交換用カバー 7 を蓋体 6 に対して跳ね出させることができ、これにより使用者は、交換用カバー 7 が蓋体 6 から離脱したことを知得できるとともに、交換用カバー 7 が蓋体 6 から浮き上がった状態となるので、これら両者が重ね合わされている場合よりも、容易に交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0027】

また、係合突部 16 と係合凹部 22、並びに係止突起 19 と凸状リブ 26、特に可撓変形される弾性片 18 の係止突起 19 とこれに係合する凸状リブ 26 とを、上下方向には離脱不能に角付けされた入隅部 17、20 と出隅部 23、27 とで係脱自在に係合したことにより、交換用カバー 7 を蓋体 6 にしっかりと取り付け固定することができ、落下などによって化粧料容器 1 に大きな衝撃が加わったとしても、これによって交換用カバー 7 が蓋体 6 から簡単に脱落することを確実に防止することができる。

【0028】

このように交換用カバー 7 を蓋体 6 に安定的保持できる一方で、蓋体 6 に対する交換用カバー 7 の押し付け操作や、弾性片 18 を可撓変形させる第 2 の溝 25 からの操作によって係止突起 19 と凸状リブ 26 とを容易に係脱させることができ、簡単に交換用カバー 7 の交換を行うことができる。

【0029】

また、係止突起 19 のテーパ面 29 は、凸状リブ 26 との係止を円滑化する機能も併せ持ち、交換用カバー 7 の装着操作を円滑化することができる。さらに、ヒンジブロック 13 を利用して、これに第 1 の溝 24 および第 2 の溝 25 を形成

するようにして、交換用カバー 7 の交換操作のために化粧料容器 1 の外形寸法が大きくなってしまふことを防止することができる。

【0030】

上述した本実施形態にあつては、蓋体 6 に交換可能にこれを覆う交換用カバー 7 を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体 3 に交換用カバー 7 を設けるようにしても良い。この場合、交換用カバー 7 については上記実施形態と同様に構成すれば良く、他方、第 1 の溝 24 は容器本体 3 の外面から、そして第 2 の溝 25 は収納凹部 2 側から形成するようにすればよい。

【0031】

本実施形態にあつては、ヒンジ 4 やフック 5 を備えた化粧料容器 1 を例示して説明したが、これに限らず、容器本体 3 に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体 6 を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

【0032】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる化粧料容器にあつては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を示す側断面図である。

【図 2】

図 1 の化粧料容器の一部分解斜視断面図である。

【図 3】

図 1 の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最初の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

【図 4】

図 1 の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す途中の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

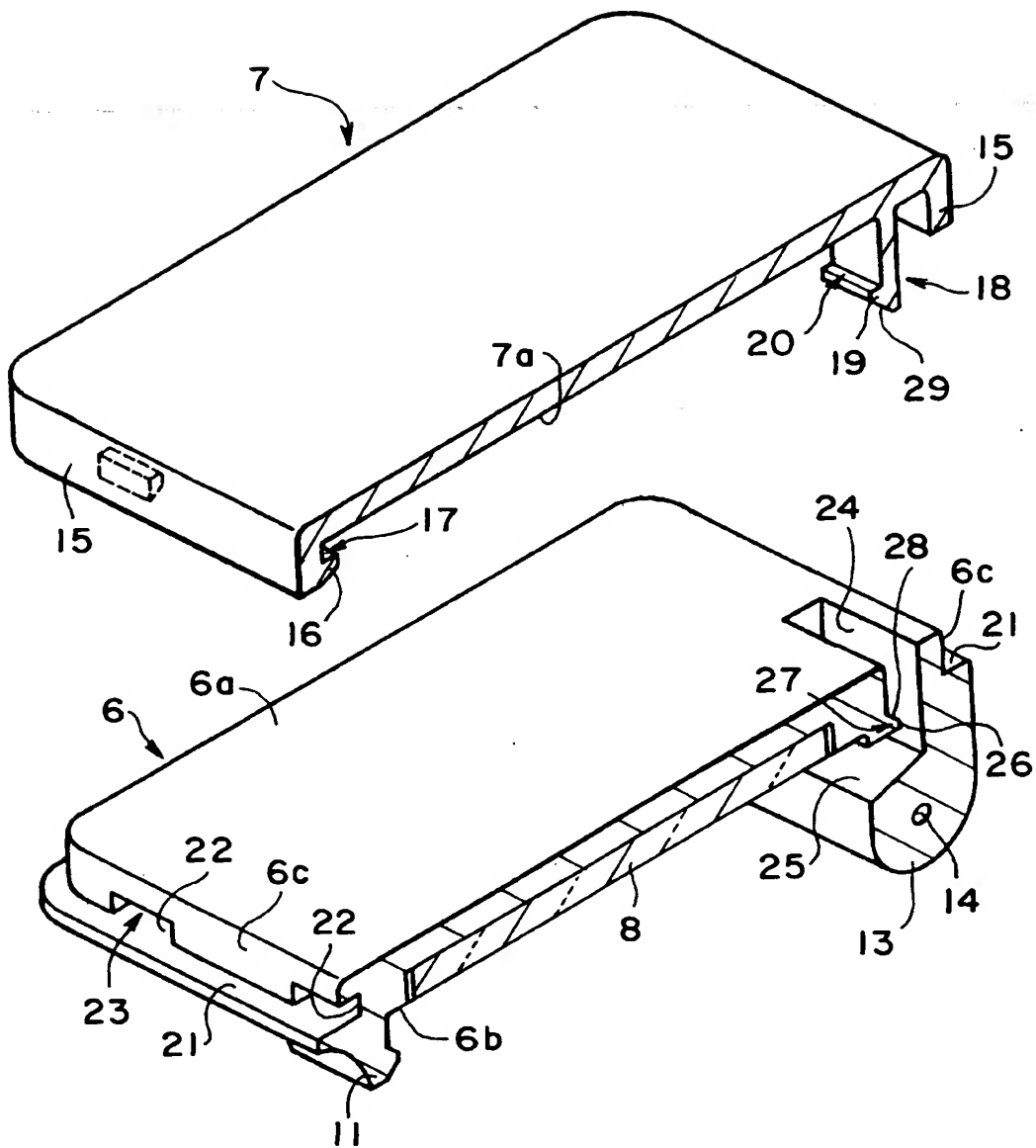
【図 5】

図 1 の化粧品容器において、交換用カバーを取り外す最後の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

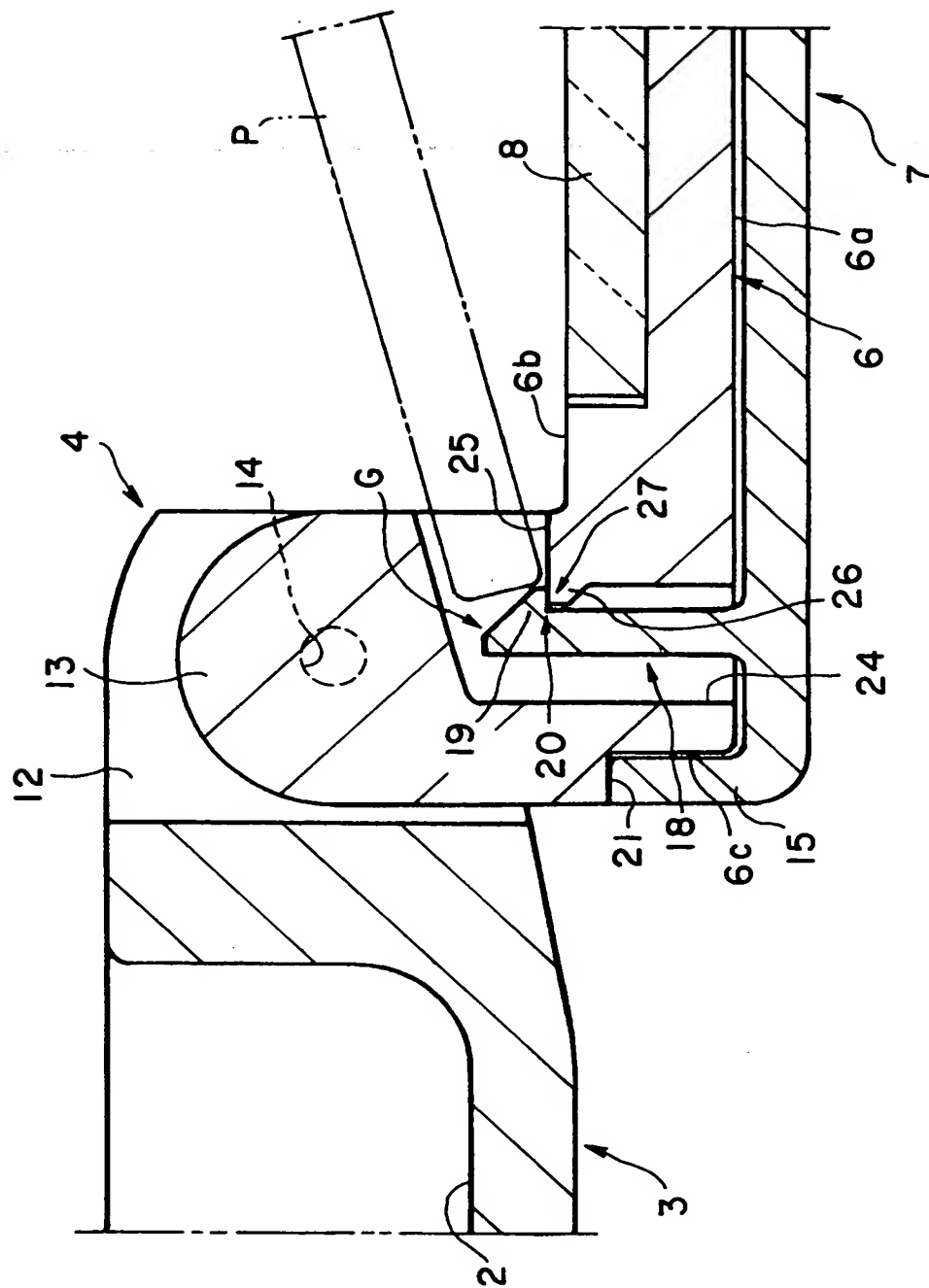
【符号の説明】

- | | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 1 | 化粧品容器 | 3 | 容器本体 |
| 6 | 蓋体 | 6 a | 蓋体の外面 |
| 6 b | 蓋体の内面 | 7 | 交換用カバー |
| 1 8 | 弾性片 | 2 4 | 第 1 の溝 |
| 2 5 | 第 2 の溝 | 2 6 | 凸状リブ |

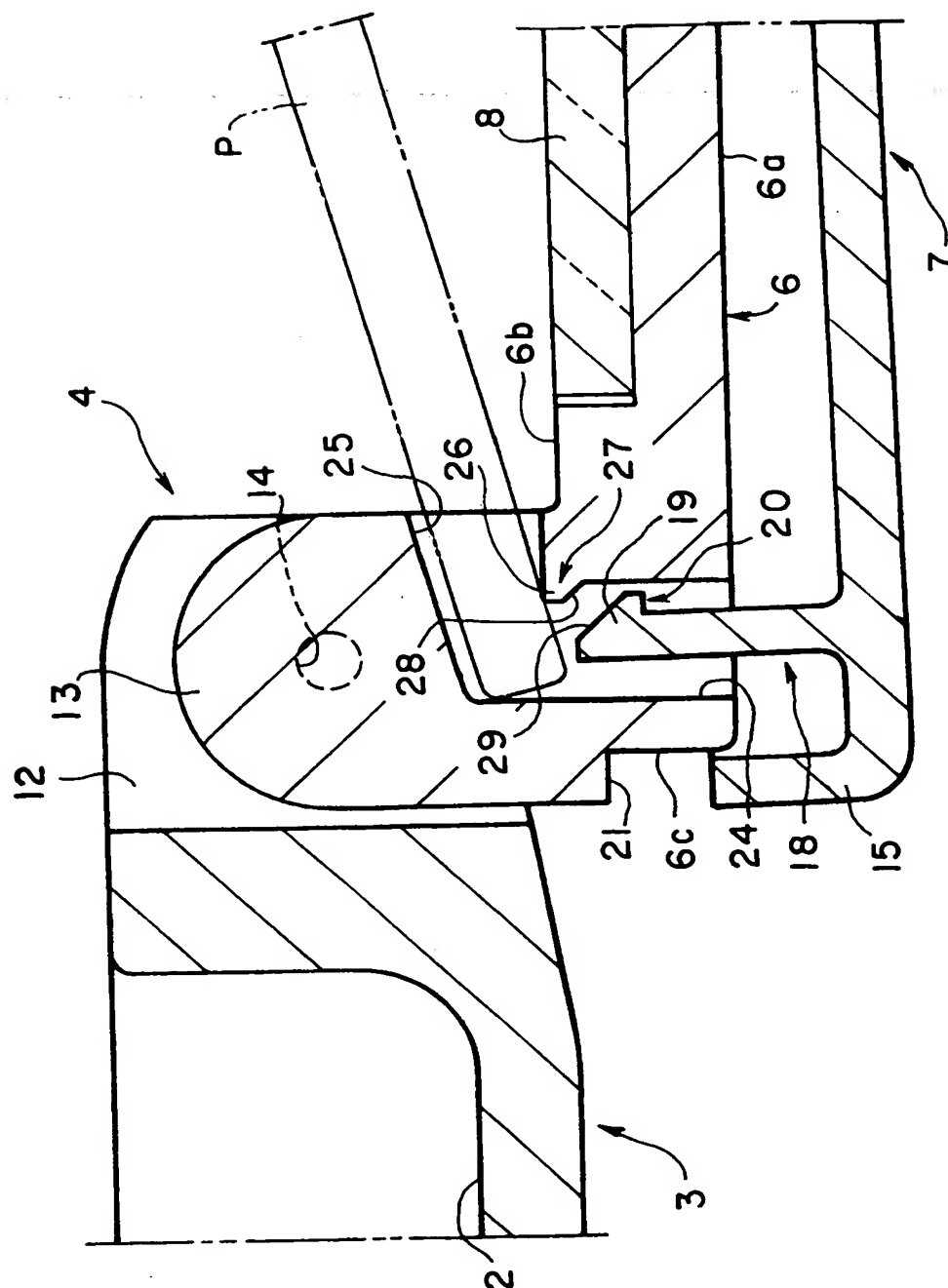
【図 2】



【図 3】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供する。

【解決手段】 蓋体 6 の外面 6 a に、これを覆って交換可能に設けられる交換用カバー 7 と、蓋体 6 の外面 6 a 側から窪ませて形成された第 1 の溝 2 4 と、第 1 の溝 2 4 内部に形成された凸状リブ 2 6 と、交換用カバー 7 に形成され、第 1 の溝 2 4 内に挿入されて凸状リブ 2 6 に係脱自在に係合される可撓変形自在な弾性片 1 8 と、蓋体 6 の内面 6 b 側から窪ませて第 1 の溝 2 4 に連通させて形成され、第 1 の溝 2 4 内部で凸状リブ 2 6 に係合している弾性片 1 8 を可撓変形させて凸状リブ 2 6 から離脱させるべく、当該弾性片 1 8 に操作力を加えるための第 2 の溝 2 5 とを備えた。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 0 1 3 7 4 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 1 6 0 2 2 3]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 9 月 1 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都墨田区立花 5 丁目 2 9 番 1 0 号

氏 名

吉田工業株式会社